新年祭（ 普天満宮）

新年祭の様子

鍾乳洞見学

新年祭を祈念して！
今年1年健康でありますように！

>>>　四つのテスト　<<<　～言行はこれに照らしてから～

1．真実かどうか
2．みんなに公平か
3．好意と友情を深めるか
4．みんなのためになるかどうか

職業奉仕月間

＊＊＊　第2610回　（２０２４年1月10日）移動例会報告　＊＊＊

■例会プログラム

司　　会：山城 咲乃
開会点鐘：平仲会長
会長挨拶：平仲会長
幹事報告：河村幹事
委員会報告：天久 宏幸
新年ユンタク会
閉会点鐘：岡江副会長

■会長挨拶

平仲絢子会長

皆様、新年おめでとうございます。
　今年は年明け早々に能登半島大地震、JAL機事故と立て続けに心が痛むニュースが舞い込んできました。災害や事故はいつ何時起こるかわかりません。
　今回、航空機の衝突事故については、海保機乗務員は残念な結果となりましたが、JAL機の乗客乗員全員は無事緊急脱出することができました。機体が炎に包まれる中、冷静な判断と乗客誘導で緊急脱出誘導をした乗務員の皆様の行動には、海外からもたくさんの称賛が寄せられているところです。その中には、「奇跡」が起きたなどと表現するメディアもありますが、決して「奇跡」ではなく、乗務員たちが積み重ねてきた訓練の賜物であるといえます。私は前職、客室乗務員として国内線に乗務しておりました。客室乗務員の業務はサービス面がクローズアップされがちですが、訓練の8割は保安要員としての安全業務です。新入訓練時には、緊急時のドア操作・火災・急減圧・急病人・ハイジャックなど様々な緊急事態に備えたシミュレーション・機器操作・行動訓練が行われます。また入社後も全乗務員が年1回丸1日をかけた総合訓練を毎年行っています。そうした知識と経験の積み上げ、スキルの維持・プロ意識があるからこそ、チーム一丸となって今回の緊急脱出が成功したのだと確信しています。
　今回の事故から、災害や事故はいつ何時起こるかわかりませんが、万が一に備えた準備と心構えをすることの大切さを改めて実感いたしました。

■幹事報告

河村哲幹事

■委員会報告

天久宏幸社会奉仕委員長
能登半島地震支援金について

■ニコニコ（財団/米山寄付）

前回累計	¥335,840	¥23,674
第2610回	¥0	¥0
累　計	¥335,840	¥23,674

■出席報告

出席報告		前　回	今　回
例会NO.		2609	2610
例会日		12月20日	1月10日
会員数		28	28
出席者数		19	16
出席免除者数		2	1
算定用会員数		26	27
出席率		73.08%	59.26%
メークアップ	一般会員	1	0
	免除会員	0	0
訂正出席者数		20	16
訂正算定分母		26	27
訂正出席率		76.92%	59.26%